



小牧山

戦国に馳せる

安田女子大学文学部教授
高木久史

第2回 織田氏の出自とその系譜(1)

劔神社古絵図復元模型(越前町織田文化歴史館蔵)



福井県丹生郡越前町織田地区(旧織田町)は、織田信長を始めとする織田氏の名字の地と伝えられています。当地を指して織田と呼ぶ最も古い記録は平安時代まで遡ります。現在も織田神社(現在は劔神社の摂社)が鎮座します。さらに建保6年(1218年)には、織田荘という荘園がつくられました。

織田地区には劔神社が鎮座しています。劔神社は、奈良時代からの記録が残る由緒の古い神社です。劔神社には室町時代から信長・秀吉の時代までの古文書が多数残っています。さて、伝えには織田氏の先祖は劔神社の神官とも、織田荘の荘官をしていたともいわれますが、事実謎にまつまれました。

ルーツは越前



織田神社社殿

劔神社文書の世界

織田信長は越前占領後、その支配を柴田勝家に任せました。勝家が劔神社へ出した文書に「当社之儀者殿様御氏神」とあり、当社「劔神社は殿様」信長の氏神である、ということ。この他にも、劔神社を指して信長の氏神とする古文書がいくつか現存することから、氏神 祖先と関わりのある神社として信長の時代に認識されていたことは間違いありません。

ちなみにこの他、劔神社には越前占領後の信長の政策を示す古文書が多数伝わっています。著名なものが、天正4年(1576年)の越前における刀狩の記録、そして天正5年(1577年)の越前一国検地の記録です。これらは近世的システムの成立を考える上で重要な古文書です。

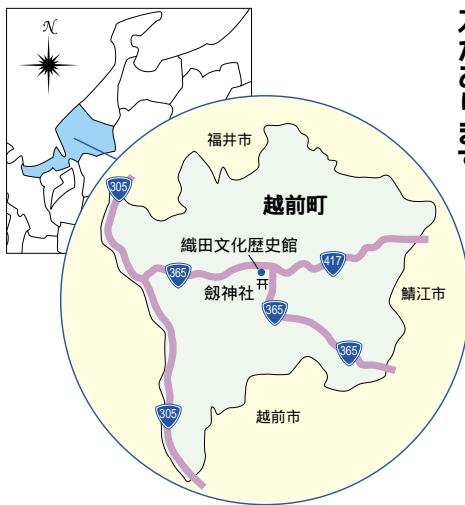
信長は織田へ来たか?

では、信長は織田へ来たことはあるのでしょうか? 結論を先にいうと、今でも不明です。

確かに越前国へは来ています。1回目が天正元年(1573年)で、2回目が天正3年(1575年)の越前占領のときです。信長がこれらの期間に織田に立ち寄った可能性もあります。

平氏? 藤原氏?

織田氏の系譜については、平氏説・藤原氏説など諸説があります。平氏説は現在残る織田氏の系図を根拠としています。ただこれらの系図は江戸時代以降に作成されたものであり、信長以前の部分については信憑性に疑問が持たれています。実は、室町時代や信長が活躍した時代の古文書を見る限り、藤原氏説が最も説得力があります。



問合先 文化振興課(☎76 1189)